

知っていますか? 誤嚥性肺炎と口腔ケアとは…

歯科口腔外科には常勤歯科医師3名、歯科衛生士7名、歯科技工士1名、歯科助手2名が在籍しています。

その中でも歯科衛生士は外来患者さまの診療だけではなく協立病院入院患者さまと老人保健施設の入所者さま(アメニティ帯広・本別)の口腔ケアをおこなっています。

皆さんは誤嚥性肺炎や口腔ケアと聞くと、どのようなことを思い浮かべますか?

入院・入所中、寝たきり等の理由で思い通りに歯磨きが出来ないと、食べかすや細菌が誤嚥性肺炎という病気を引き起こす恐れがあります。それだけではなく、歯周病やむし歯のリスクも高くなり痛み等から上手くお食事が取れなくなる事もあります。

そういったことを予防する為に病室や入所先のお部屋に歯科衛生士が直接伺って口腔ケアをさせて頂いています。

また、口腔ケアはお口をきれいにするだけではなく、お口の体操やマッサージを行うことで周囲の筋肉を刺激し、飲み込む力も鍛え誤嚥性肺炎の予防をしていきます。

病院歯科として皆様のお口と体の健康を保てるよう努めています。口腔ケアの希望、またはご不明な点がありましたら歯科口腔外科または病棟看護師・施設職員にお申し付けください。



歯科口腔外科診療案内

平成29年6月1日～

医師名		月	火	水	木	金	土
むらにし 村 西	午前	診療	診療	手術	手術	診療	週により 診療医師が 変わります。
	午後	診療	診療	診療	診療	診療	
たのそと 田 外	午前	診療	診療	診療	診療	診療	午後休診
	午後	診療 訪問診療	診療	診療	診療	診療	
北大 出張医	午前	診療	診療	診療	診療	診療	
	午後	診療	診療	診療	診療	診療	

※都合により変更になる場合がございますので、ご了承下さい。

編集後記

昨年の8月帯広十勝は、台風の直撃により大きな被害を受けました。私の住んでいる東地区も朝の4時頃に避難勧告が出されましたが、半地下にある車を地上に出すだけで、避難しようとは思いませんでした。結果的に大事には至りませんでしたが、もし堤防が決壊していたらどうなっていたのでしょうか。死を覚悟するまではいかないとしても、外に一步も出られなくなり、救助をひたすら待ち人様のお世話になっていたかもしれません。わからないことはとても不安です。(太田雄一郎)

ハートフル♥協立病院

vol.36 2017.9.30



機能種別版評価項目
3rdG(Ver.1.1)
認定病院

医療法人社団 刀圭会 協立病院

- 《基本理念》 地域住民の皆様に対して「喜ばれる」医療を提供します。
 《基本方針》 1. 患者さまへの医療及び健康の保持増進に努めるとともに疾病の予防活動を提供します。
 2. 在宅生活を支援すべく、保健・医療・福祉・介護の一本化に寄与します。
 3. 患者さまの権利を尊重した入院環境の充実に努力します。
 4. 十勝でのリハビリテーション医療の発展に貢献します。

**今号の
記事紹介**

2面…病院機能評価の認定
3面…病棟エイドってご存知ですか
4面…地域住民講演会のご案内
4面…歯科口腔ケア 歯科口腔外科診療案内
編集後記



医療法人社団 刀圭会 法人理念

医療・介護・保健・生活・福祉の一体化
～「安全」「安心」「安らぎ」を提供できるグループを目指して～

刀圭会ホームページ <http://www.toukeikai.or.jp/>

協立病院広報誌

発行 協立病院広報委員会
発行日 平成29年9月30日

発行責任者 佐藤 幸宏
編集責任者 太田 雄一郎



医療法人社団 刀圭会 協立病院は

病院機能評価(3rdG: ver.1.1)一般病院1

リハビリテーション病院
の認定を受けました



協立病院は、平成29年7月7日付けで公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rdG: ver.1.1)一般病院1、リハビリテーション病院の認定を受けました。

医療の受け手である患者様のニーズに合った、質の高い医療を提供するため、第三者の客観的な立場から評価を受けることにより、安全で安心な医療が受けられる病院としてこれからも努力してまいります。

病院機能評価とは

病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動(機能)が、適切に実施されているかどうかを評価する制度です。日本医療機能評価機構から派遣される評価調査者(サーベイヤー)が、一定の基準に基づき中立・公平な立場にたって、病院の活動状況を評価し認定をします。

病院機能評価の認定を受けて

協立病院 院長 佐藤幸宏

当院は、平成29年7月7日付けで日本医療機能評価機構の機能種別版評価項目3rdG(Ver.1.1)一般病院1と副機能としてリハビリテーション病院の認定を、認定第JC1160-3号として交付されました。平成18年11月20日の初回の認定から今回で継続3回目の認定となります。

「病院機能評価」とは、(財)日本医療機能評価機構が医療機関の質の一層の向上を図るために、医療機関の機能を学術的観点から中立的な第三者の立場で評価し、基準を満たす病院に認定証を発行するものです。

20数年前の当院への赴任当時、社会はまだ基準看護どころか付き添い婦なる民間の素人の方々のお助けがあつて医療と看護は成り立っておりました。今と比べると隔世の感があります。

今日の日があるのは、多くの先人の方々のためめめ献身的努力と職員の勤勉によるものと感謝しております。

これからも、質の高い医療サービスの提供に向けて、病院機能の改善・充実に努め、信頼される医療の提供に努めてまいります。



第19回 協立病院祭

日時: 10月15日(日) 午前10時~午後1時
会場: 協立病院 待合ホール

特別講演 「認知症を理解する」

お楽しみコーナー

◆子供コーナー◆ 飲食コーナー

各種測定コーナー 無料

◆骨密度測定◆ 血管年齢測定

催し物

協立密席
桂三段
落語会



「病棟エイド」ってご存知ですか?

当院では今年度より看護師が行う医療行為以外の業務をサポートする「病棟エイド」(別名看護助手)の方が活躍しているのでご紹介します。

具体的には備品洗浄、検査時の検体運搬、ナースステーションの清掃、物品の補充、入院患者様のお茶の準備、書類のメッセンジャー業務などになります。

病棟エイドの松浦さんへのインタビュー

Q この仕事をするきっかけは何でしたか?

A ずっと仕事を探していたのですが、当院に勤めている看護師を通して病棟エイドとして働く人を探していると聞いたのがきっかけです。

Q 初出勤した日のことを覚えていますか?

A 今まで医療系の仕事に就いたことがなかったので見る物全てが新鮮でした。

Q 業務を行う上で戸惑うことはありますか?

A 患者さんに声をかけられてどう対応してよいかかわからず、患者さんの言葉も何を話しているのか聞き取れない時は戸惑うことがあります。

Q これから仕事を続けていく上で何か感じていることがあれば教えてください。

A すごく働きやすい職場ですがまだ日々の業務をこなしていくので精一杯です。色々な仕事を覚えていってもっと役に立てればと思っています。



一般病棟 細田副部長から松浦さんへメッセージをお願いします。

看護師が今まで行っていた業務の一部を病棟エイドの松浦さんがサポートしてくれるので看護師の負担軽減にもなり助かっています。今は少しずつお願いしたことを覚えて、業務に活かしてもらっています。これからもナースステーションの一員として他のスタッフともコミュニケーションをとりながら日々の業務にあたってもらいたいと思っています。

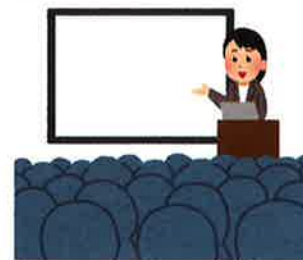
地域住民講演会のご案内

協立病院では地域住民の皆さまを対象とした医療と健康に関する講演会を行っています。参加費無料です。どうぞお気軽にご参加下さい。

今後の予定

●「インフルエンザと面会制限について」

日時: 10月31日(火) 11:00~11:30
場所: 病院1階 第一会議室
講師: 協立病院 看護部
看護副部長 細田美穂子



●大学医師の土曜セミナー

旭川医大の医師を招いて、医療に関わる講演会を行います。詳しい講演内容は決定次第、病院のホームページ、院内掲示にてご案内いたします。参加費は無料です。

①日程: 10月21日(土) 14:00~15:00
講師: 奥村利勝 教授(旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野)
場所: 協立病院 外来待合ホール
②日程: 11月11日(土) 14:00~15:00
講師: 伊藤 浩 教授(旭川医科大学整形外科学講座)
場所: 協立病院 外来待合ホール